

令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立 宮城小学校校長 出水 典克

1 学校教育目標

- ① なかよく：豊かな人間性
- ② 元気に：健康な心と体
- ③ がんばる 宮城の子：基礎学力の定着・学ぶ意欲の向上

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 読書を通して、豊かな感性や情操を育んだり、幅広い知識を身に付けたりできるようにする。
- ② 多様な資料から目的に応じた情報を選んでまとめるなどの、情報活用能力を身に付けさせる。
- ③ 様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。
- ④ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

3 学校図書館の現状（令和3年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 12906 冊（蔵書基準冊数 10360 冊）／ 蔵書率 124.57%（前年度 118%）									
	② 新規購入図書 815 冊 ／ 廃棄図書 68 冊 ／ 増減冊数 +747 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.3%	0.8%	6.4%	7.3%	11.1%	4.2%	3.0%	6.7%	2.5%	56.7%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	①開館時間：授業中・中休み（前年度からの変更 あり なし ）									
	②児童一人あたりの年間平均貸出冊数 49 冊（前年度：43 冊）									
	③1か月に2冊以上読む児童 96 %									

（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 12,930 冊（蔵書基準冊数 9,560 冊）／ 蔵書率 135.3%									
	② 新規購入図書 607 冊 ／ 廃棄図書 583 冊 ／ 増減冊数 +24 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.4%	0.9%	6.1%	7.0%	12.2%	4.3%	3.0%	6.5%	2.7%	56.0%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業中・中休み（前年度からの変更 あり なし ）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 55.0 冊（前年度末：49 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 93.3%（前年度末：96%）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①絵本や図鑑などに興味をもち、すすんで読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、決まりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
①学校図書館から貸し出した学級文庫を配置することで本を読む機会を増やす。 ②読み聞かせを行うことで、読書に対する楽しい経験を積ませる。 ③学校図書館の利用の仕方について知る。		①前後期で2回の貸し出しを行う。 ②図書ボランティアや高学年による読み聞かせを、年に20回以上実施する。 ③学校図書館オリエンテーションを全クラスで実施する。
目標達成状況	①前期後期で2回の貸し出しを行い、多くの本を読むことができた。 ②図書ボランティアや高学年による読み聞かせを、年に20回以上実施することができた。 ③学校図書支援員によるオリエンテーションを実施することができた。	

第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ① いろいろな読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ① 学校図書館から貸し出した学級文庫を配置することで本を読む機会を増やす。 ② 調べ学習を取り入れて、様々な本に触れる機会を増やす。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書をするができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 前後期で2回の貸し出しを行う。 ② 1年間に2回以上の調べ学習を行う。また、年間で一人当たり50冊以上の本を読む。 ③ 図書室の利用法を確認する。
目標達成状況	
<ul style="list-style-type: none"> ① 前後期で2回の貸し出しを行うことができた。 ② 1年間に2回の調べ学習を行い、年間で一人当たり50冊以上の本を読むことができた ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書をすることができた。 	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ① いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、すすんで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ① 学校図書館から貸し出した学級文庫を配置することで本を読む機会を増やす。 ② 好きな本を紹介しあうことで、友達が読んでいる本のジャンルにも興味をもって読書しようとする意欲を育てる。 ③ 辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 前後期で2回の貸し出しを行う。 ② 年間で一人当たり40冊以上の本を読む。 ③ 調べ学習を年2回以上行う。
目標達成状況	
<ul style="list-style-type: none"> ① 前後期で2回の貸し出しを行うことができた。 ② 年間で一人当たり40冊以上の本を読むことができた。 ③ 学校図書館を活用した調べ学習を年2回以上行うことができた。 	
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ① いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ① 学校図書館から貸し出した学級文庫を配置することで本を読む機会を増やす。 ② 自分の興味のある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても読書することができる。 ③ 辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 前後期で2回の貸し出しを行う。 ② リクエストをもとに低学年への読み聞かせを年3回以上行う。年間で一人当たり30冊以上の本を読む。 ③ 調べ学習を年2回以上行う。
目標達成状況	
<ul style="list-style-type: none"> ① 前後期で2回の貸し出しを行うことができた。 ② 年間で一人当たり30冊以上の本を読むことができた。 ③ 学校図書館を活用した調べ学習を年2回以上行うことができた。 	
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ① 学校図書館から貸し出した学級文庫を配置することで本を読む機会を増やす。 ② 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ③ 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 前後期で2回の貸し出しを行う。 ② リクエストをもとに低学年への読み聞かせを年3回以上行う。年間で一人当たり20冊以上の本を読む。 ③ 調べ学習を年2回以上行う。
目標達成状況	

①前後期で2回の貸し出しを行うことができた。 ②年間で一人当たり20冊以上の本を読むことができた。 ③調べ学習を年2回以上行うことができた。	
第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館をすすんで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 学校図書館から貸し出した学級文庫を配置することで本を読む機会を増やす。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	①前後期で2回の貸し出しを行う。 ②リクエストをもとに低学年への読み聞かせを年3回以上行う。年間で一人当たり20冊以上の本を読む。 ③調べ学習を年1回以上行う。
目標達成状況	
①前後期で2回の貸し出しを行うことができた。 ②年間で一人当たり20冊以上の本を読むことができた。 ③調べ学習を年1回以上行うことができた。	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 新規購入図書を受け入れ、登録作業は随時進め、12月までに完了させる。 ② 全体の状況を把握し、除籍候補リストや分類の偏りを確認して購入図書候補リストの作成をする。	①追加で発注したのものも、登録作業は随時進めることができた。 ②巡回図書を行い、担任が選書をする機会を設定し、それを基に購入図書候補リストを作成することができた。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ① 学校図書館オリエンテーションの実施や、授業に必要な教材や資料の貸し出し、図書展示を行う。 ② 調べ学習をはじめ、授業に必要な資料についての相談や情報交換を行う。 ③ 学校図書館支援員やボランティアとの連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりを実践する。 ④ 読書を教育活動の様々なことと関連づけるカリキュラム・マネジメントを進める。	①1年生に向けて、学校図書館オリエンテーションを実施した。図書館内は、季節に合った本や、各学年の単元に合わせた図書展示をした。 ②調べ学習に使用する資料について教員と相談の上、提案することができた。 ③昼の放送の時間にその日の給食の献立に合わせた本や、季節に合った本を2か月に1回実施することができた。
【その他】 ① 個人の貸し出しだけでなく、学年・学級単位での貸し出しもできるようにする。 ② 調べる学習コンクールへ参加することで、図書館を利用して「調べる力」を育てる	①3年生の国語、2年生の生活など、学年単位で貸し出しを行うことができた。 ②調べる学習コンクールでは、学校代表として選出した7人中、4人の児童が全国コンクールで入賞することができた。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

コロナウイルスの影響が少なくなってきたため、毎日図書委員会による中休みの開放を行った。また、昨年度に続き、一回に3冊貸し出しできるようにした。委員会活動では、朝読書を促す放送や中休みの図書室開放、昼の放送での読み聞かせを行った。12月に行った読書月間では、担任の先生のおすすめ本を紹介したポスターを作成して掲示したり、読書の記録を記入するカードを作成したりした。図書ボランティアは、通常時程の金曜日には読み聞かせを行い、年に17回実施した。

昨年度に比べ、貸し出し総数も増え、児童の図書に関する関心は高まったと考えられたが、学校評価のアンケートでは、図書の項目が低かったこともあるため、令和5年度は今年度の反省を踏まえ、活動内容を工夫し、家庭へ活動内容を知らせる機会を設定し、更に児童が関心をもてるような活動を考えていく。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

図書室は、少しずつ整理されていきっているが、本の冊数が多く、入り切れていないものも多いため、9類の図書をスペースのある第二図書館へ移動する。

情報の古い本、利用されない本、破損が激しい本は、除籍したり、新規購入をしたりしていく。

児童の図書に関する関心を高めるため、令和5年度はボランティアや支援員、委員会と連携し、新たな取り組みを考えていく必要がある。